

「馬込文士村から大森貝塚碑へ」

冬ながら暖かい晴天の一日、横田巖先生のご案内で東京は大森の馬込文士村から大森貝塚碑へ、総勢 25 名でめぐり楽しく有意義な一日でした。(12 月 5 日)



《蘇峰公園》

旧徳富蘇峰邸が公園となっており、山王草堂記念館も見学できる。
日本庭園の紅葉がとても綺麗でした。



《尾崎士郎記念館・士郎旧邸》

建物の中に展示されている資料を見ることができました。



《鉄砲の稽古をしたケヤキの木》

士郎の相撲好きは有名で、昭和7年（1932）には大森相撲協会を結成し、文士仲間と相撲を取り、戦後は横綱審議会委員も務めた。自宅でもしばしばふんどし姿となり、ケヤキの大木を相手に鉄砲の稽古を繰り返したそうです。再現した方がいました。



《品川歴史館》

東海道第一の宿場として栄えた品川宿を中心に、原始・古代から現代にいたるまでの品川の歴史を学べます。残念ながら本日は臨時休館でした。



《鹿嶋神社》

品川区大井6丁目所在の鹿嶋神社は、安和2年（969年）に、常陸国・鹿島神宮から分霊を勧請したことに始まった神社で、主祭神は武甕槌神。町中でも立派な神社でした。樹齢200年のタブノキが、大木となって自然の姿を保っていました。



《大森貝塚遺跡庭園》

案内図の前で、講師の解説

大森貝塚は、アメリカ人のモース博士が発掘発見された貝塚で、大森駅から徒歩5分程度のところにあります。今は大森貝塚遺跡庭園として整備されています。貝以外にも土器や動物の骨なども見つかっています。



《貝塚の遺跡》

発掘された貝塚の地層が、そのまま保存されていて、その様相が見られました。



《大森貝塚の碑》

JR 東海道線・京浜東北線の線路わきに建立された石碑には、「我国最初乃発見」と刻まれていました。

生涯学習「西柴」の今年度の散策は、2月に北鎌倉・禅寺の文化財拝観と、3月に、東京・四谷見附から日枝神社で終わります。